

授業科目 医療と福祉の法

【担当教員名】 遠藤 和男 (健康栄養学科) 丸田 秋男 (社会福祉学科)	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要> 明治30年に制定されたカタカナ書きの伝染病予防法は、平成10年にいわゆる感染症予防法として生まれ変わった。また、介護保険法は平成12年4月に施行されたばかりである。時代背景とともに法律も変わっていくが、その必要性については理解できるであろう。将来専門職種として活躍するために必要な法律について、その要点を学習する。

<一般目標：G10>

将来医療技術または社会福祉の専門職種として活躍するために、関連する法規の必要性及びそれらの要点について理解する。

<行動目標：SBO>

1. 保健、医療、福祉に関連する法規の必要性を説明できる。
2. 資格取得を目指す身分法の特徴を、他と比較して説明できる。
3. 様々な法律と保健、医療、福祉関係の法律とを区別できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法及び担当教員
	[保健・医療関係法規]		
1	疾病対策の法律		
2	ライフステージ別法律		
3	地域保健に関する法律		
4	保健医療関係の身分法		
5	医療に関する法律		
6	生活環境に関する法律		
7	公害規制に関する法律		
8	労働に関する法律		
	[社会福祉関係法規]		
9	社会福祉の法と行政		
10	社会福祉基礎構造改革と社会福祉法		
11	生活保護に関する法律		
12	児童福祉・母子福祉に関する法律		
13	障害福祉に関する法律		
14	老人福祉に関する法律		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	1. 衛生法規の要点改訂版	山本宣正・大谷 篤	日本公衆衛生協会	2003、¥2700+税
	2. 国民福祉の動向	厚生統計協会	厚生統計協会	2003、¥2200、秋に2004版
参考書	1. 社会福祉六法(平成14年)		新日本法規出版	2001、¥5000+税
	2. 社会福祉法の解説		中央法規	2001、¥5500+税
その他の資料	法の解説のポイント等について毎回レジュメのプリントを配布する予定である。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
・途中、Q & Aについてのレポートを実施するかも知れないが、詳細は未定。 ・国家試験形式の択一問題の試験を実施する。	社会福祉学科の場合、法学一般も必須科目であり、その他法律関係の問題は毎年出題されている。健康栄養学科も公衆衛生学が必須科目であり、その中で関連法について触れるものの、社会福祉関連の法律を学ぶには良い機会かも知れない。他の学科についてもやがて公衆衛生学が必修化されるため、履修した方が望ましい。